



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシテイビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円 (一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成18年 10月号
No.185

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

第21代自民党総裁に安倍氏 京都でも根強い支持を獲得



谷垣氏地元で面目を保つ

9月20日に投票が行われた自民党総裁選挙は、大方の予想通り安倍晋三氏が党員・党友として国会議員の票を7割近く集めて圧勝し、第21代総裁に選出された。京都府において谷垣氏は、国政の中核での活動が長く、地元を留守にしがちであったためにとどまらず、党員、党友票を獲得できるか心配されたが、地元選出の国会議員の支援もあり、7785票まで票を伸ばし、府連の持ち分の6票のうち4票を獲得、地元候補者の面目を保つことが出来た。安倍氏はさすがに国民的人気が高い候補者であるだけに谷垣氏の地元にもかかわらず4人の国会議員の支持も得て、3948票を獲得した。麻生氏は、京都が青年会議所運動の熱心な地域だけにもっと多くの票を獲得し健闘するかと思われたが、僅か633票にとどまった。これは青年会議所の会員、OBに党員が少なく、あまり普段から政治に関わりを持たないことからこのような結果になったと推測される。谷垣氏が次回の総裁選挙に出馬するならば京都府連あげての体制となるように今後は足繁く地元京都に帰ることが必要になってくるのではないかと。い

ずれにしても京都府連は谷垣、安倍両陣営に上手に票が分かれ、各々が応援した国会議員の面子も立ち、選挙のしこりが残らなかったことは幸いなことである。

恒心

近頃、給食費未払いの父兄が増えているという。収入がなくて払いたくても払えないという父兄がいることも事実であるが、収入があるのに、或いは払う能力があるのに払わない父兄が多いという。生活保護世帯でも、給食費は保護費の中に含まれているので払えませんかという口実にはならない。子供たちが食べた後の始末が出来なければ、まるで無銭飲食と変わらない。子どももそんなことを知れば恥ずかしい思いをすることだろう。未払いの父兄たちは、憲法26条2項で義務教育はこれを無償とするという条文を根拠に、学校給食も無償であるべきだ、どうして父兄が払わねばならないのかということとを主張している。それは義務教育の9年間、子どもたちが教育を受けるために必要な費用を国や自治体は授業料という形で父兄から徴収しないということであって、修学旅行や学校給食などは、生徒個人へ便宜を提供しているものであるから、利益を受けた生徒はそれに見合う費用を払うのは当然である。憲法26条2項の前文で、保護者は子どもにも義務教育を受けさせる義務を負うと明記している。当然学校給食も父兄が払う義務を負っていると判断すべきである。給食費はいったいどれぐらいの額であるのか。多くの場合、小学校で月額約4千円、中学校で4千500円だという。弁当を持参させても費用がかかる。それを肩代わりして、学校側は給食を提供しているのである。苦しい家計であってもやりくりして可愛い子ども達の給食費くらい気持ちよく払ってもらいたいものである。

伊吹文明氏、文科大臣に 見識を生かし、教育改革を

先の総裁選挙で、安倍晋三氏は教育改革を最優先課題に掲げ、そのためにも教育基本法の改正を早急に目指すと訴えていた。総理就任後の最初の記者会見においても、安倍首相は今臨時国会で教育基本法の改正案を成立させ、内閣に教育再生会議を立ち上げて公教育を再生させると、教育改革に並々ならぬ意欲を表明した。

教育改革はどの内閣でも常に重要政策の一つに上げられているが、与野党の厳しい対立の中で、なかなか教育基本法の改正案は陽の目を見なかった。昨今の青少年犯罪の多発、子どもの学力低下、若者の国及び地域社会への無関心を考えれば、学校・家庭・地域での教育を今一度見直し、21世紀の日本を担うしつかりとした日本人を育成する必要がある。人材こそ日本のもっとも大きな資源であるという視点に立つならば、今こそ教育改革を是非とも実現しなければならぬ。従って、その任にあたる文部科学大臣に

谷垣氏、次への意欲を示す 3ケタの万台に乗せ自信

党大会に代わる両院議員総会が終わった直後、谷垣支援の国会議員が集まった会合で谷垣一衆議院議員は、「結果として負けたが、皆様方のご支援のおかげで102票という3ケタの票を獲得でき、選挙期間中訴えたことが、党員・党友の皆さまの理解を得

は実力があり、教育問題に見識があり、文部科学省に睨みの利く議員が就任しなければならぬ。今回文部科学大臣に就任した伊吹文明氏は、財政・税制の専門家であるが、政策全般に深い見識を持っていることはよく知られている。当初は党三役の一角に入るのはないかと噂されていたが、安倍首相が熱心に取り組む教育問題にその政治力と見識を買われて文部科学大臣として入閣した。10月3、4日の両日に開かれた参議院本会議でも、自らの教育論を述べ、堂々とした答弁ぶりであった。伊吹大臣には、日本の将来のために、教育再生の成果を上げてもらいたい。



たのではないかと思っている。これからも皆さまと一緒に、私の主張が党の政策に生かせるように努力していきたい。新総裁の下で来るべく衆院補欠選挙、地方統一選挙、参院通常選挙において党の発展と勝利のために頑張っていきたい。皆さまのご支援でこの戦いをする事ができた。この経験を生かし、新たな歩みを始めたい。」と次への意欲を十分に表す挨拶であった。

門川氏、 教育再生会議委員に就任 教育改革に意欲

安倍新政権が掲げる重要政策の一つ、「教育改革」。それを主導することになる「教育再生会議」の委員に、京都市教育長の門川大作氏が就任する運びとなった。そこで、門川教育長にその心境や今後の安倍政権が取り組むべき課題についての見解を伺った。

☆なぜ委員に選ばれたと思うか？
門川：榊本教育長(現京都市長)から続く、教育改革が評価された。地域参加型の学校運営評議会の導入、市立高校や養護学校の改革などだ。そうした成功例を8月4日に安倍総理も直々に視察された。

☆今、学校教育の何が問題なのか？
門川：学力が生きる力になっていない。学校で学ぶ内容が社会生活の実態とかけ離れている。そこで、子供の学ぶ意欲は低下し、大人も生き様で学ぶ必要性を教えられない。それが学力低下やニートなどの問題の原因だ。かつては京都市もそうだった。そこで京都市では、学校・家庭・地域の持つ教育力を融合して教育現場に取り込む改革を行った。

☆小学校での英語必修化についてどう考えるか？
門川：京都市では10年前から小学3年生以上で必修にしている。英語より日本語が大切だから、あえて学ばせている。狙いは3つある。まず、「我輩は猫である」という日本語は英語に翻訳できない。こうした例で日本語の特性や奥深さを学ばせる

こと。次は、幼い子が外国語に触れると、真剣に聞き、話そうとする。それによって、言葉に対するそうした力を養わせること。最後は、どうせ英語を学ぶなら、恥じらい無く自然な発音を身に付けやすい小学生のうちから触れるのが良いということ。しかし、英語の習得を目指すためのだけの、単純な早期教育には反対だ。

☆教員の再研修・免許制度はどうか？
門川：学び続ける人間に教える資格があると思う。時代の変化に伴って生じる新たな課題・指導方法を全教員が学ぶ制度は不可欠だ。再研修してこそ、保護者の信頼も得られる。それをしないで、時代や子供の変化に対応できない指導力不足の教師には辞めてもらう必要がある。

☆公立学校で中高一貫教育が進むとエリート意識をおおるのは？
門川：公教育には、社会のための自己犠牲をも厭わぬ真のリーダーを育てる役割もあるが、戦後はそれが軽視された。その役割を担ったのは一部の私学だが、それは経済的に恵まれた子だけがリーダーを育てる教育を受けられる。それは良くない。公立学校もその役割を担うべきだ。



二ノ湯議員、参議院 総務委員会理事に 事実上、役職停止処分解ける

第165回国会は9月26日に召集され、衆参両院で首班指名が行われ、両院において安倍晋三氏を第90代の内閣総理大臣に選出した。新しい総裁・総理の誕生に伴い、自民党では党及び国会役員的大幅な入れ替え人事を行った。二ノ湯議員は昨年、郵政民営化関連法案に反対票を投じ、党本部より役職停止1年、執行猶予2年の処分を受けていたために、役職人事には全く無縁と考えられていたが、参議院自民党の幹部の配慮で総務委員会理事に就任することになった。二ノ湯議員は参議院議員に当選以来、総務委員会に所属しており、委員会の運営には多少慣れているため、理事の仕事

謹慎の身で内閣の一員 政務官人事

9月26日、安倍新内閣の発足に伴い、内閣の人事が行われた。内閣の人事については総裁選の論功行賞、あるいは安倍首相の側近を重用した人事だと批判されているが、どんな人事を行っても批判は常につきまとう。限られたポストに、希望者が定員以上あれば、外された人は不満である。なぜあの人が入って、自分が駄目だったのか。どんな世界でも人事は難しいが、自己顕示欲の強い人が多い政界ではなおさらその傾向が強い。大臣・副大臣の人事にと

を十分こなせるのではないかと期待されている。安倍首相は所信表明の中で、地方分権の一層の推進、道州制の導入を明らかにしている。更に公務員制度の改革、来年10月からスタートする郵政公社の民営化、放送と通信の融合問題など総務委員会に関係する案件は大変多い。それだけに非常にやりがいのある委員会である。今回の人事は、二ノ湯議員にとっては、まさに望外の喜びであり、「地方議会議員を経験したのもにとつて地方自治を審議する総務委員会の理事に推薦され正直嬉しい気持ちです。先輩議員の心配りに感謝すると共に一生懸命努力して与えられた職責を全うしたい」と語った。なお、二ノ湯議員は政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会、国際問題に関する調査会にも所属することになった。

もない、政務官人事で、16年度の選挙で参議院議員に当選した3人が就任した。北川イツセイ(大阪選挙区)、河合常則(富山選挙区)、水落敏栄(比例区)の3氏である。河合氏は昨年の郵政民営化関連法案に反対、水落氏は棄権した議員。いずれも処分中の謹慎の身であったが、新総裁誕生と共に処分も事実上解かれ、政務官就任となった。



安倍政権下初の補欠選挙 自民党総力戦を展開

10月10日告示、22日投票で大阪と神奈川県において二つの衆議院補欠選挙が行われる。安倍新総裁誕生後、初めての国政選挙とあって自民党は全力を挙げ必勝態勢を敷いている。大阪9区では原田憲治氏(大阪府会議員)が立候補をする予定である。二ノ湯事務所からも秘書が手伝いに出向している。原田氏の必勝を期すため安倍総裁も二度応援に入る予定である。



自民党右京支部、 公認予定候補者を決定 府会・市会各1名

来年4月に執行される予定の統一地方選挙で自民党京都府支部連合会では、府会・京都市会で第一党の座を維持し、更に党勢拡張のため、議席数の増加を目指して、例年になく早い段階で公認候補者を決定している。京都市内においては、府会では右京区・北区・南区、市会では右京区を除いて全て公認候補者が決定している。しかし、これ

自民党政経文化懇談会のお知らせ

恒例となりました自民党の政経文化懇談会が開催されます。皆様方へお願いするのは誠に心苦しく存じますが、なにとぞご協力下さいますようお願い申し上げます。

- ◆日時 平成18年11月23日(木・祝)
 - 講演会 13時(メインホール)
 - 講師 元国連大使 佐藤行雄先生
 - 懇親会 14時半(イベントホール)
- ◆場所 国立京都国際会館(左京区宝ヶ池) ◆会費 一口3万円
- ☆お申し込みは二ノ湯さとし事務所まで

らの行政区も10月初旬までには各行政区の自民党支部より京都府連に公認申請がなされた。右京支部では、9月12日に支部役員会を開き、府会・市会の希望者2人を招き面接を行った。役員会で話し合った結果、府会には二ノ湯眞士(27歳・二ノ湯智参議院議員秘書)、市会には山元亜紀(31歳・中川泰宏衆議院議員秘書)の両名を公認予定候補者として決定、9月14日に京都府連に推薦届を出した。両名は次回開催される府連選挙対策委員会で公認される見込みである。

二ノ湯議員公務員の厚遇で発言 「ビートたけしのテレビタックル」

ここ数年、公務員の厚遇ぶりについて国民の間から厳しい批判が起こっている。特に民間企業と比べると明らかに給与の面で格差が広がっており、人事院・人事委員会で給与水準の見直しを行うよう勧告を行い、官民格差の縮小に努めている。それでもなお、公務員の手厚い優遇については改善すべきだという意見が多い。そんな公務員批判の中で、今年に入って公務員の不祥事があちこちの地方自治体で起こっている。京都市役所職員の相次ぐ逮捕、岐阜県庁の組織的な裏金工作、後をたない公務員の飲酒運転等々、今や公務員、特に地方公務員の厚遇、不祥事は国民の怒りの的となっている。テレビ朝日の人気番組「ビートたけしのテレビタックル」(毎週月曜日夜21時)では、「膿を出せ!公務員の厚遇ぶりにメスを!」という番組を企画し、公務員の不祥事の防止、公務員改革と官民格差の是正にどう取り組んでいくのか、各界からゲストを迎えて討論することになった。

二ノ湯参議院議員は、所属する総務委員会から公務員改革について質問してきた。テレビ朝日では二ノ湯議員の質問に注目、ビデオでの出演依頼があり、**10月16日**に放送する番組に出演した。そのため10月3日、参議院議員会館の二ノ湯議員の事務所録画撮りが行われた。

身辺雑記

一、安倍内閣がスタートした。美しい国を実現することがこの内閣の使命である。日本の歴史・伝統・文化の価値観を取り戻し、かつて日本人、日本が持っていた良さを再生するのが安倍さんの目的である。誰が考えても今の日本の現状はおかしい。ぜひ、若さと実行力での目的を遂行してもらいたい。

一、今回の総裁選挙は、昨年の郵政民営化関連法案の時のように頭を悩ますことはなかった。地元から候補者が出ているのだから、谷垣さんを応援するのは当然であると、支援者も同僚の国会議員も同

じ思いであった。遠くの親類よりも近くの他人である。

一、術後一ヶ月以上経過しているのに、10日間入院した後遺症が依然として残っている。食欲は旺盛で、散歩も欠かさずしているのに、たるんだ筋肉がなかなか元に戻らない。年のせいだろうか。

一、年と言えば、先日東京で映画を見に行った。窓口で60歳以上はシニア料金と掲示してあった。運転免許証を見せて、千円を払って入場したが、得をしたというよりも自分もそんな年になったのかと思った。

一、夜、会食がないときは、早く宿舎に帰り洗濯、掃除そして自炊するのもいい。これから夜が長くなるのでいい時間の過ごし方かもしれない。

新春招福バスツアー 第20回 伊勢神宮初詣

- ◇旅行日 平成19年1月8日(月・祝)
- ◇昼食場所 賢島『宝生苑』 ◇会費 8,000円
- ◇申込締切日 平成18年12月11日(月)

◇申込先 後援会役員または
二ノ湯さとし京都事務所まで TEL(075)315-2228
FAX(075)315-2310

参議院議員 二ノ湯さとし後援会

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は毎月一回の発行です。毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名: みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —
二ノ湯さとし事務所
電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました
<http://www.ninoyusatoshi.com>

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所
☎075-315-2228

第164回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時: 10月29日(日) (小雨決行)
今月は第5日曜日です。お間違いなく
- ・出発時刻: 午前9時(時間厳守)
- ・集合場所: 嵐電北野白梅町駅前
- ・コース: 白梅町→北野天満宮→千本釈迦堂→十二坊→鷹峯→常照寺→光悦寺→然林房→しょうざん庭園→金閣寺前解散
- ・一足早く秋が深まる京都洛北鷹峯の古寺と古跡を訪ねます。日本の粋を集めたしょうざん庭園で京都ならではの風雅をお楽しみ下さい。ゆっくりと歩きます。皆様のご参加をお待ちしております。
- ・代表世話人 北村好司郎 ☎075-313-8758
(当日)090-1956-7460

歩くことは
健康の基本

第163回 みんなで歩こう湯歩会 (参加者67名)



琵琶湖大橋を背景に